

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成30年7月5日 (2018.7.5)

【公表番号】特表2017-520450(P2017-520450A)
 【公表日】平成29年7月27日 (2017.7.27)
 【年通号数】公開・登録公報2017-028
 【出願番号】特願2016-573617(P2016-573617)
 【国際特許分類】

B 6 0 C 5/00 (2006.01)

B 6 0 C 23/12 (2006.01)

B 6 0 C 19/00 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 C 5/00 E

B 6 0 C 23/12

B 6 0 C 19/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月25日 (2018.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タイヤ圧調整用の形状記憶を備えたチャンバであって、一端で媒質吐出点に接続されるとともに、他端で媒質源に接続されており、

当該チャンバ (K) および / またはそのキャリアの壁の少なくとも一部を横切って、ファイバが 0 . 0 0 1 ~ 2 0 0 m m の間隔で設けられている

ことを特徴とするチャンバ。

【請求項 2】

前記ファイバは、当該チャンバ (K) の相対する壁を接続している

請求項 1 に記載のチャンバ。

【請求項 3】

前記ファイバは、当該チャンバ (K) の内径の壁を当該チャンバ (K) の外径の壁に相互接続している

請求項 1 または 2 に記載のチャンバ。

【請求項 4】

前記ファイバは、当該チャンバ (K) のブリッジ (W) の機能、および / またはタイヤ (P) の機能、および / またはインナチューブ (D) の機能、および / または前記タイヤの変形荷重が当該チャンバ (K) にかかる影響以外で当該チャンバ (K) がつぶれることを防ぐ付帯構造物の機能を構成している

請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のチャンバ。

【請求項 5】

実際の当該チャンバの下に、および / または当該チャンバの一部として、当該チャンバが下からのインナチューブ自体の圧力によって閉じることを防ぐベルトが設けられている

請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のチャンバ。

【請求項 6】

前記ベルトは、ファイバを含んでいる

請求項 5 に記載のチャンバ。

【請求項 7】

当該チャンバは、当該チャンバの両サイドに定着されたブリッジを備え、これにより、当該チャンバは、広がらないように保護されている

請求項 1 ないし 6 のいずれか に記載のチャンバ。

【請求項 8】

前記ポンプ（K）の入力および／または出力には、最小規定容量を有する部分が設けられている

請求項 2 または 3 に記載のチャンバ。